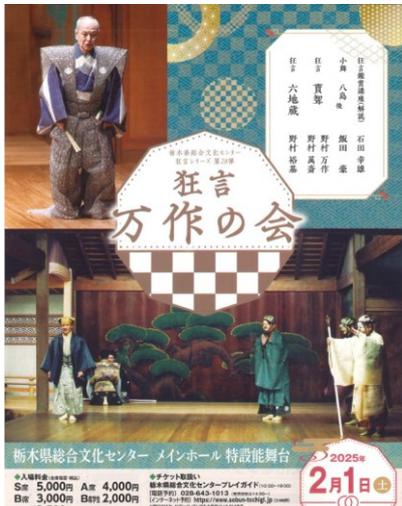


社会保険労務士からの三方一両得だより

令和7年2月20日 第185号

狂言を見に行ってきました

今年の抱負の一つに、「日本の伝統芸能に触れてみる」というものがあります。オーケストラのクラシックコンサートやミュージカル、宝塚歌劇などは行きましたが、日本の伝統芸能は一切見たことがありませんでした。私もいい歳になりましたので、ナイスミドルを目指して教養を高めようという算段です。



宇都宮文化会館と総合文化センターの催し物を検索したら、今回の狂言が見つかりました。しかも解説付きということで、何の知識もない身としてはありがたい限りです。出演は人間国宝の野村万作さん、俳優としても有名な野村萬齋さん、その息子の裕基さん。最高です。

メインホールに入りましたら、能舞台がしつらえてありました。能と狂言の関係すら知らなかったので、驚きました。解説は10分位と簡単なものでしたが、その後の観劇に大いに役

立ち有難かったです。

セリフが昔の言葉なので半分くらいしか理解できないのですが、ものすごく簡単に言えばコントなのですね。原型は平安時代に生まれたとされていて、それが1000年以上も続き今や芸術として評価される。なんとも不思議で興味深いです。別に笑いはしませんでした。興味深くて面白かったです。



許可を頂いて撮影しました



キャベツの芽も出ました

我が家の畑

先月ガチガチに保温して種まきした人参は、少し芽が出てきました。一番寒い二月ですが、実は夏野菜の種まき時期であつたりします。簡易のビニールハウスで苗づくりを開始しました。レタス、キャベツ、ブロッコリー、ナス、ピーマン、トマト、スナップエンドウ。一番最初に蒔いたレタスは芽が綺麗に出そろっていたのですが、温かい日に換気をしなかつたら、半分枯れてしまいました。専業でない身としては細かな管理は難しいですね。

企業に求められるスポットワークの就業整備 ～連合「スポットワークに関する調査 2025」よ り

空いた時間を利用して、短時間・単発で雇用されて働く「スポットワーク」の就業件数が増えていることを踏まえ、この度、日本労働組合総連合会（連合）は、インターネットリサーチにより、スポットワークで働いているまたは働いたことのある 15 歳以上を調査し、1,000 名の有効サンプルを集計した結果を公表しました。



◆調査結果のポイント

- 1 スポットワークで働こうと思った理由について、1位「生活のための収入確保」、2位「空き時間の有効活用」、3位「すぐに賃金が受け取れる」。また、応募の際、契約形態の確認をしているかという質問では、40%近くが「確認していない」と回答。
- 2 1日で複数のスポットワークを行ったことがある割合は 24.8%で、その際の就労時間は平均 4.9 時間。8時間以上と回答した割合が 15.3%あり。

- 3 1か月あたりの収入については、「5千円未満」（22.6%）が最も多く、平均では「2.8万円」。
- 4 就業先から、業務内容や賃金等の労働条件について説明を受けたことがないと回答した割合は 24.5%。けがや事故防止については 34.4%が受けたことがないと回答。どの就業先でも「労働条件通知書」が交付されたという人は 30.9%にとどまる。
- 5 仕事上のトラブルについては 46.8%が経験しており、最も多いのが「仕事内容が求人情報と違った」（19.2%）、次いで「業務に関して十分な指示や教育がなかった」（17.7%）。
- 6 スポットワークの就業環境について、必要だと感じることとして、「業務内容についての十分な説明」、「就業条件の向上」、「嫌がらせやハラスメントに対する通報窓口の整備や周知」などがあげられた。
情報通信技術により、仕事を探してお金を稼ぐことが簡単にできるようになりました。その影響で、働くこと自体に慣れていない10代の利用が増えています。雇う側としても、人手不足を解消するためにも上手に活用したいところです。極力トラブルを避けるためにも、企業の説明責任や環境整備が求められます。